ASKニュース

Vol.0184

2015年12月14日(月)
担当：ＭＳ事業部　玉井

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-21 損保ｼﾞｬﾊﾟﾝ日本興亜名古屋ﾋﾞﾙ1F
ASK税理士法人　TEL 052-971-1122　FAX 052-971-4488

普天間基地問題を考える

はじめに

沖縄県普天間基地移設問題に関連して、先日、普天間基地跡地にディズニーリゾートを誘致するという案が急浮上しました。

そもそもどのような問題なのか？

普天間基地は何が、問題なのでしょうか？

普天間基地が問題とされている理由は、

①住宅街の中にあり、危険な場所にあること。

「世界一危険な基地」と呼ばれています。

②米兵の犯罪行為

③騒音問題

などです。

1995年に米兵の少女への暴行事件をきっかけに、基地移転の議論が本格化しました。

もうすでに、問題化してから20年経過しているのです。

鳩山元首相が元凶

早速、翌年の1996年に橋本首相（当時）が動き、日米政府は普天間を返還し、基地を別の場所に移設することで合意しました。そこで騒音・住居が少ない辺野古に移設しようという動きになりました。しかし、鳩山首相（当時）が、「辺野古ではなく、最低でも沖縄県外に基地を移設する」と公言したことで、沖縄県民の一部に県外移設の火が付きました。

辺野古移設の反対理由

辺野古移設への反対派、辺野古周辺の環境問題（サンゴ礁の破壊）を理由に反対しています。政治的な活動に反対運動が利用されているという側面もあります。

基地移転は、空港だけ移転しても意味がありません。海軍兵との連携が遅れて有事の際に対応が後手にまわるという決定的な問題点があります。

翁長沖縄県知事は、少し前まで基地移転賛成派でしたが、選挙の関係で基地移転反対派に変わりました。鳩山元首相や翁長知事の近視眼的な方針で解決が20年も遅れています。マスコミの報道では表面的なことしか語られません。ニュースについて、自ら深堀して考えることが、日々の経営問題についても深堀するトレーニングになりますので、習慣にしたいものです。